

公益社団法人日本技術士会 長野県支部 平成 29 年度年次大会・CPD 講演会 開催報告

日 時 平成 29 年 7 月 8 日 (土)
年次大会 (14:00~14:30) ・ CPD 講演会 (14:50~16:20) ・ 交流会 (16:30~18:20)

会 場 ホテル モンターニュ松本 2 階「フルール」

- 年次大会 ・ 開会挨拶 (支部長 小口雄平)
- ・ 平成 28 年度事業報告及び平成 29 年度事業計画案
(総務委員長 塩沢一久・広報委員長 小林雄二郎・企画業務委員長 森多毅夫)
 - ・ 平成 28 年度会計報告及び平成 29 年度予算計画案 (会計幹事 臼田裕一)
 - ・ 閉会挨拶 (副支部長 牧垣壽志)

CPD 講演会 「虫から見た環境」 (チョウが舞う環境)

講師：長野県建設部砂防課 課長 田下昌志 氏 (農学博士)

参加者 年次大会 38 名, 講演会 51 名, 交流会 32 名



写真-1 小口支部長



写真-2 塩沢委員長



写真-3 小林委員長



写真-4 森委員長



写真-5 臼田会計幹事

【年次大会】

年次大会は、小口支部長が議長として議事進行し、平成 28 年度事業報告及び平成 29 年度事業計画案は各委員会の委員長から、平成 28 年度会計報告及び平成 29 年度予算案は会計幹事から説明されました (写真-1~写真 5)。質疑応答では、参加者から「地域組織活動費」についての質問があり、小口支部長から「地域組織活動費が増額されるように他支部と連携して本部に要望した」ことが報告されました (写真-6)。また、今後の技術士制度の在り方の国際的通用性に関する質問が出されました。



写真-6 質疑応答の様子

【CPD 講演会】

CPD 講演会は、長野県建設部砂防課長の田下昌志氏 (農学博士) より、「虫から見た環境」 (チョウが舞う環境) と題して、講演して頂きました (写真-7)。講師紹介は、長野県建設部 OB の山浦幹事が行いました (写真-8)。

講演の前半は、長野県の砂防事業や、今年の 5 月に飯山市で発生した土石流災害について、砂防工事の効果事例を解説して頂きました。その後、仕事の傍ら研究されているチョウを始めとした昆虫について、地球温暖化等の環境変化がもたらしたと考えられる生息範囲の変化について、身近な長野県内の事例を用い、分かりやすく説明して頂きました。昆虫に



写真-7 CPD 講演会



写真-8 講師紹介 (山浦幹事)



写真-9 講師謝辞 (牧垣副支部長)

関するお話しでは、「信州の食虫文化」についても解説され、御自身が行われた昆虫の調理方法やそのエピソードなども紹介して頂きました。

CPD 講演会の開催状況



【交流会】

交流会は、幹事の森茂雄氏が進行し、冒頭、「残さず食べよう 30・10 (さんまる いちまる) 運動」の呼びかけがあり、会場の食事を味わってから交流の場とすることができました(写真-10)。交流会中盤に、今回の年次大会を最後に退任される幹事の挨拶や新任の幹事の自己紹介を行いました。

講師の田下氏が交流会にご出席頂いたこともあり、各テーブルでは、これまで食べたことのある昆虫について会話が弾みましたが、昆虫以外にも活発な意見交換が行われ有意義な交流の場とすることができました(写真-11～写真 12)。

